

# 適正受診にご協力を お願いいたします

正しく医療機関にかかっているか確認  
してみましょう



安心して  
医療機関に  
かかりましょう



## 1 かかりつけ医を 持ちましょう



自分や家族の健康状態を把握してくれて  
いる、かかりつけ医があると安心です。

- 大病院に比べて待ち時間が短いの、診察もじっくりしてもらえます。
- 病歴や体質などを把握してくれているので、すばやく適切な対応をしてくれます。
- 精密検査や高度な医療が必要になったときは、ほかの医療機関や専門医を紹介してくれます。
- 健診などの結果を報告すれば、生活習慣の改善点などのアドバイスをしてくれます。

## 2 重複受診は やめましょう



重複受診をすると、また初診料を支払い、同じような検査や処置が行われて費用がかかります。さらに、投薬や注射などを繰り返すことで、からだへの負担や副作用も心配されます。

- 病気の疑問点や、検査や薬が何のためなのかを、お医者さんに納得のいくまで質問しましょう。
- ほかの医療機関で受診する際には、かかりつけ医から紹介状をもらいましょう。

## 3 時間外受診は やめましょう



緊急の場合以外は診療時間内に受診しましょう。時間外受診は、お医者さんにとっても負担になりますし、割増料金も支払わなければなりません。また、急病人の治療に支障をきたす恐れもあります。

- あらかじめ、かかりつけ医に体調を崩した際のアドバイスをもらいましょう。
- 乳幼児の場合は軽い症状でも、昼間のうちに受診しておきましょう。
- 日ごろから自分や家族の健康状態を把握し、体調が悪くになったら早めに受診しましょう。

## 4 薬の適切な用量・用法 を守りましょう



体調がすぐれないとき、薬はとても頼りになる存在です。しかし、適切な用量・用法を守らないと、薬が効かなかったり、からだに悪影響を与えたりします。

- 医療機関では、必要以上に薬を欲しがらないようにしましょう。
- 処方された薬は他人にあげたり、もらったりしないようにしましょう。
- 薬をもらうとき、ほかに服用中の薬があれば、その旨をお医者さんや薬剤師さんに報告しましょう。

## 5 迷ったら電話でできる 小児救急電話相談



休日や夜間の子どもの急な病気で心配なときは、電話相談ができます。

小児救急電話相談  
#8000  
又は、083-921-2755

※受付時間：毎日19時から翌朝8時まで

## 6 ジェネリック医薬品 を利用しましょう



特許期間が過ぎた新薬と同等の効能・効果を持つジェネリック医薬品なら費用が安くなることも。利用を相談してみましょう。